

## 第 393 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 5 年 7 月 4 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX ROOTS RADIO  
[放送日時] 令和 5 年 5 月 9 日 (火)  
19:00～20:30  
[出演者] DJ Roni
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 服部乃利子  
委員 加藤裕治 委員 土屋維子  
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩  
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充  
編成制作部専任部長 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○ K-MIX の、第一四半期の状況。新番組の現況を報告

### 6. 番組審議

[番組名] K-MIX ROOTS RADIO  
[放送日時] 令和 5 年 5 月 9 日 (火) 19:00～20:30  
[出演者] DJ Roni  
[番組内容] 大好きな静岡県を聴取者とともに GROOVE させる音楽とカルチャー、会ったことはなくても、昔からの仲間だったかのような、みんなが集い、前向きで、時に刺激的な夜を過ごす番組。

#### [聴取・合評での主な意見]

#### 服部委員

番組内容に GROOVE を掲げていることもあって、オープニングから高揚感を与えてくれる。番組全体を通して、Roni のトークの「時に少し、くだけて聴取者に呼びかける」「声のトーンを落として、雰囲気を出す」「ちょっと年上の位置から語りかける」といった所が特に耳なじみになっているが、「聴取者からのメッセージを繋げるトーク力」「ゲストとのやり取り」も安定しており、なによりも、「情報の引き出しをたくさん持っている」ことが伝わってくる。昨年度までの担当番組よりもかなり短い 90 分という時間で、力強いトークのままスタミナ十分に進行していると感じる。番組内容は「メッセージ」「自分の意見」「ゲストとのトーク」「音楽」

というラジオ番組の定番の要素で成り立っているが、違和感なく聴くことができる。これから、聴取者層を広げて行くのか、これまでの Roni ファンに、より一層深く交わって行くのかが今後、問われると思う。

加藤委員

率直な感想として『Roni の番組』という印象を与えてくれる。番組の構成要素である「ニュース（トピックス）」「トーク」「音楽」のバランスがよくとれている。夜に向かって進むにつれて、音楽が重要な要素になっている展開も良い。

パーソナリティの Roni は抜群の安定感があり、トークでの個性（Roni 調）も、心地よく感じている人が多数だと思われるので、大きく変える必要はないと思う。

ゲストとのトークも話が深まってくると、興味深い内容になってくるため、地元静岡県の関係者等をうまく選んで展開して行くところ面白いのではないだろうか。

番組のテイストとして、番組の構成は良いと思う。

この後、Roni 自身が「全体的なバランスを重視したいのか」

「自分の思いを押し進め、例えば、懐かしの昭和の番組のような、特徴満点の番組にしたいのか」、今後の方向性が、どこにあるのかも気になる、楽しみな番組である。

土屋委員

安心して聴ける番組。Roni の「声色」「内容」「コメント」に対して、何一つ心配する要素がなかった。

そして、「きちんとした音楽番組である」とも感じた。30分番組には、まだ、音楽に特化したものも見受けられるが、この番組のように1時間30分という、ある程度まとまった時間がないと、十分に、音楽の話もできないし、曲も放送することができない。この番組はそういう思いを受け止めて、消化してくれている。

この安定した番組の中で「静岡情報（ニュース）」が出てくるが、1日のタイムテーブルを見た中で、ニュースがこの時間帯でベストなのか、他の番組で取り上げたほうが、時間帯的に合っているのではないだろうか、ということも感じる。しかし、Roni のカラーには合っているので、良い意味で気にならない。また、日替わりテーマが、翌日や次回に持ち越されてしまうことも、ほのぼのとしていて良い。翌日も聴きたいと思わせる引き出しの多さを改めて感じた。

木宮委員長

番組そのものが、構成を少しレトロに傾けていて、その流れに、Roniのキャラクターが合っているものと思われる。聴取層も昨年度までの番組と比べて、少し、上に設定しており、その点も、ターゲット世代にマッチしている。また、Roni自身も、テンポをやや落として、ゆったりした雰囲気が出ていて良い。しかし、一方で、レトロな装いをしながらも、番組内で、ツイッターの要素が頻繁に登場し、リアルタイムなキャッチボールが展開されている。レトロな中にも新しい要素が加わり、うまく融合している。

さらに、1時間30分の放送時間内に、突出した「お笑いの要素」を一切外し、真面目に1つのコンセプトで番組を制作している姿勢が心地よい。結果として、1つ1つのコーナーをじっくり聴くことができる。

番組は、開始から日が経つと、また、前年度の手法や、本来持っている原点のテンポ感等に戻ることもあろうかと思われるが、そういう時には、是非、本日の各委員のご意見も思い出していただき、良い番組展開を続けていただきたい。

会社サイド

今回も、貴重なご意見をありがとうございます。  
前回にいただいたご意見につきましては、番組制作で共有し、今後、より良い番組にして行きたいと思っております。  
どうもありがとうございます。

以上

次回開催日 令和5年9月5日(火) 11:00~13:00を予定

番組審議会委員長  
木宮敬信